

ホソハンミョウ

Cylindera gracilis (Pallas)
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

全国的に絶滅が危惧されている。福井県産昆虫目録（初版）以降、記録がない。

分布

北海道～九州に分布している。本県では福井市文殊山が最後の産地となっている。現地の環境は激変しておらず、再確認が望まれる。

種の特徴

全長約 10 mm。肩がなく、やや細い。後翅が無く、飛べない。全体鈍い黒色、上翅の外縁に黄褐色の計 4 小紋を持ち、時に翅端中央に赤褐色の小紋を持つ。主に平地や里山に生息する。夏季、開けた露地で活発に歩行し、アリ等の小動物を捕食する。

生息を脅かす要因

県内での記録が少ないため、状況は把握出来ていないが、他県等では露地の開発で生息環境が減少しており、生存が危ぶまれている。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						○

セアカオサムシ

Carabus tuberculatus Dejean & Boisduval
コウチュウ目・オサムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

今回の調査では永平寺町で新たな生息地が見つかった。河川敷のように人為的な改変を受けやすい環境を生息地とし、分布が局地的であるために生息基盤は脆弱である。近隣の石川県、富山県、京都府でもレッドリストに掲載されていることも考慮し、準絶滅危惧のランクとした。

分布

北海道～九州に分布。県内では過去に福井市舟橋、越前市味真野、池泉町、南越前町鋳物師での記録があり、今回は永平寺町内の九頭竜川河川敷で確認された。

種の特徴

体長 16～22 mm。前胸背板は赤銅色で、個体によっては緑色を帯びることもある。上翅の側縁部は光沢のある赤銅色で、その内側は緑色を帯びるのがふつう。上翅には黒色の瘤状隆起列が認められる。成虫は春季～秋季に活動する。地表徘徊性。

生息を脅かす要因

河川敷の開発による自然環境の改変が脅威となる。本種は山地の草原や牧場周辺、畑地等に生息することもあり、草地開発、圃場整備も脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、石川県自然環境課（2009）、環境省（2015）、京都府自然環境保全課（2015）、富山県自然保護課（2012）、上野ら（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○		○		○					○

クビボソコガシラミズムシ

Haliphus japonicus Sharp
コウチュウ目・コガシラミズムシ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

今回、小浜市内と越前町内で生息が確認された。このうち、小浜市内の生息地は個体数が安定しているが、遷移等で失われやすい休耕田・湿地である。湧水の多い湿地や小河川を主な生息地としており、県内の生息基盤が安定しているとはいえない。

分布

北海道～九州に分布する。県内では坂井市三国町、福井市、越前市、小浜市、大野市、敦賀市で記録があった。今回は小浜市と越前町内の湿地、ため池で確認された。

種の特徴

体長 2.8～3.4 mm。上翅は肩部が側方へあまり広がらないので、体は楕円形を呈する。新成虫は秋に出現し、成虫で冬を越すという。県内では 4～11 月に成虫が確認されている。湧水の多い湿地や小河川を生息地とするが、県内ではため池でも確認されている。

生息を脅かす要因

県内の生息地は水草の豊かなため池と湿地であり、開発や圃場整備による生息環境の改変に加え、湿地や休耕田の乾燥化、草地化が本種にとって脅威となる。また農薬の影響や水質汚濁の影響も懸念される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然保護課（1998）、環境省（2015）、野一色・村上（2015）、上野ら（1985）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○	○				○	○				○	○